

## 廉売競走が激化。非製造の景況DI値はマイナス80台に達する

| 11月の情報連絡員報告によると、前年比の景況DI値は、4月調査以来のマイナス80台を示すなど大きく悪化した。<br>製造業についても依然厳しい状況が続いている。情報連絡員からの報告には過度な廉売競走が、各業界を疲弊させている実態や、事業者の廃業、倒産を伝える声が多くよせられている。<br>【製造業63人、非製造業87人、計150人の集計】 | 各項目のDIの動き (前年同月比) |     |      |
|--|-------------------|-----|------|
|  | 全 体               | 製造業 | 非製造業 |
| 売上高  | 😊                 | 😊   | 😊    |
| 在庫数量   | 😊                 | 😊   | 😊    |
| 販売価格   | 😞                 | 😞   | 😞    |
| 取引条件   | 😊                 | 😊   | 😞    |
| 収益状況   | 😊                 | 😊   | 😊    |
| 資金繰り   | 😊                 | 😊   | 😊    |
| 設備操業度  | 😊                 | 😊   | —    |
| 雇用人員   | 😞                 | 😞   | 😞    |
| 業界の景況  | 😊                 | 😊   | 😊    |

😊 …増加、上昇、好転  
 😐 …不変  
 😞 …減少、低下、悪化

## ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種   | 主な要望事項  |
|----------|----------|---|
| 鉄鋼・金属    | 鍍金加工業    | 受注量の極端な減少で改善計画も立てられない。景気を回復し、仕事を確保させることが国の使命である。  |
| 窯業・土石製品  | 砕石製造業    | 「コンクリートから人へ」との方針により公共工事の削減が進められているが、建設業が雇用の大きな受け皿になっていることも考慮すべきである。                             |
| 紙・紙加工品   | 紙製品製造業   | 国が効果的な景気浮揚策を打ち出さない以上、東京都が消費刺激策を講じていただきたい。   |
| 小 売      | 自動二輪車小売業 | 民主党が「二輪ユーザーを支援する議員連盟」を立ち上げた。国内の二輪車販売台数はピーク時の8分の1まで縮小している。二輪車の良さアピールし、ユーザーの利便性を高める政策を推進していただきたい。 |
|          | 酒小売業     | 組合員の廃業、脱退が増加している一方、酒類を扱う店舗は増加している。酒販売の秩序維持のためにも、取扱店の組合加入を義務付けるような法制的整備を要望する。                    |

平成21年  
11月

# 業 界 の 声

| 製 造 業         |             |   |
|---------------|-------------|---|
| 集計上の分類業種      | 具体的な業種      | 組合及び組合員の業況等   |
| 食 料 品         | 麵製造業        | 今月中旬の入荷分から、小麦粉価格が12%ほど安くなった。廉売合戦が続いているが、何とか販売価格を維持し、適正利潤を得ることが企業存続のためにも必要である。   |
|               | 中華麵製造業      | 組合員同士の競り込みトラブルが目立っている。  |
|               | 漬物製造業       | 量販店の廉売競争の影響で利益の確保は大変難しい状況となっている。  |
|               | 製粉業         | 小麦のマークアップ(国内産小麦保護の為の経費を捻出するため輸入麦売渡の際に製粉業者に課す負担金)の縮減は製粉産業の国際競争力を向上するためには是非とも必要である。   |
| 織 維 ・ 同 製 品   | ネクタイ製造業     | 売上高は前年比20%減少。夏以降、売上減少に歯止めがかからない。  |
|               | 帽子製造業       | 単価の低い商品が売れ筋となっており、メーカー、卸とも上代価格を下げざるを得ない、厳しい状況にある。   |
|               | 帆布製品製造業     | 細かい注文ながらも受注件数は増えていたが、総売上高は残念ながら依然減少している。今秋のイベント、展示会の開催件数は前年より大きく減少したことの影響は大きい。組合員が生産調整を行なっているため、一部商品が欠品、品薄状況にある。                          |
|               | 洋服製造業       | 景況は相変わらず低調。業者の倒産、廃業が相次いでいる。   |
|               | ニット製品製造業    | 超低価格のジーンズ等をもてはやし、海外製品なくして国内消費はあり得ないとする論調も聞こえるが、このままでは国内業界存亡の危機に至ることを伝えたい。   |
|               | 織物製造業       | 10月に比べ、売上状況は若干回復した。   |
| 木 材 ・ 木 製 品   | 建具製造業       | 受注量の減少が続き、経営難に苦しむ組合員が増えている。建築着工件数は11ヶ月連続で減少する等、業界を取巻く状況はますます厳しさを増している。  |
| 紙 ・ 紙 加 工 品   | 紙製品製造業      | 低価格化の波は事務、日用消耗品を製造する我々の業界にも強く影響を及ぼしており、事業継続を困難にしている。  |
| 印 刷           | 印刷業         | 組合で実施した売上動向調査によると、7~9月期実績は前年比89.6%と、4~6月期より1ポイント改善したものの、依然として厳しい状況が続いている。10~12月期の予測は前年比88.3%と、さらに厳しい見通しとなっている。                            |
|               |             | 組合員は印刷物の後加工を担っているが、大手印刷企業からの下請けが激減(年末の定期物も減少)しており、小規模組合員は特に厳しい状況にある。  |
| 化 学 ゴ ム       | プラスチック製品製造業 | 需要は低調のままである。売上高は前年比90%台で推移している。また、まとまった数量で、納期を急いでいない取引の場合、海外品に受注を奪われている。  |
|               | ゴム製品製造業     | 組合員の中には売上高が前年を超えた者も出てきた。好転の兆しが見えてきたように感じる。  |
| 窯 業 ・ 土 石 製 品 | コンクリート製品製造業 | 当業界では秋冬期が需要期であるとの傾向は変わっていないものの、この10年近く売上高は前年を割り込み続けている。公共工事がこのまま縮小を続けるようであれば、先行きは非常に厳しい。前政権の緊急経済対策による建設工事の前倒し発注で息をつないでいるが、その後の見通しは立っていない。 |
|               | 砕石製造業       | 需要は大きく落ち込み、前年比20%減の生産量となっている。再生骨材の生産量も減少しているが、建物解体件数の減少の影響によるものと思われる。   |
|               | 生コンクリート製造業  | 下半期に入り、さらに売上高は減少している。城東地区では前年に比べ半分近く落ち込んでいる。  |
| 鉄 鋼 ・ 金 属     | 鋳物製造業       | 受注量の減少が続く中で、回復の兆しは一向に見えない。また、先行きの状況も不透明なままである。  |
|               | 鍍金加工業       | 売上高は前年比60%減、前月比25%減となっており、工場を一時閉鎖する事業所が発生した。年末を控えて来年の受注見通しも立てられず、困惑が広がっている。   |
|               | 製缶業         | 依然厳しい状況が続いているものの、売上の減少幅が縮小しつつある。  |
| 一 般 機 械       | 写真製版機材製造業   | 例年年末需要が多少見込めていたが、今年は売上状況が特に厳しい。ネットの普及により、印刷物の減少が著しい。  |
| そ の 他 の 製 造   | 工業塗装業       | 昨今の頃は、企業によりバラツキはあったものの、現在ほど厳しい状況にはなかった。現状は厳しさが業界全体に広がりつつあり、先行きを懸念している。  |
|               | 鉛筆製造業       | これまでの在庫調整の結果、需要期に入り、生産が持ち直してきた感がある。ただし状況は依然厳しい。   |
|               | ガス圧接業       | 稼働率の低下が続く、業界の状況は悪化の一途を辿っている。建築着工件数は少なく、単価の下落も止まらない。例年であれば年末の需要期であるが、売上は伸びない。  |
|               | スポーツ用品製造業   | 2012年より、中学校の体育において武道が必修化されることとなった。柔道、剣道等が衰退する中で市場の縮小を余儀なくされていたが、武道の必修化は業界にとって大きなチャンスとなっている。   |

平成21年  
11月

# 業界の声

| 非 製 造 業  |  |   |
|----------|--|---|
| 集計上の分類業種 | 具体的な業種   | 組合及び組合員の業況等   |
| 卸 売      | 食肉卸売業  | ホテル需要の不振による影響が甚大。安価な品物しか動かないため、景況の回復につながらない。  |
|          | ニット製品卸売業   | 廉売競争に歯止めがかからず、景況の悪化を招いている。倒産等により組合員は減少傾向にあり、組合運営も厳しさを増している。一層の中小企業支援策を期待したい。  |
|          | 電線卸売業  | 依然、景気の底が見えない状況にある。4～9月期の国内外電線総出荷量は前年比を22.9%下回った。10月～11月も前年比15～20%の減少となる見通しである。  |
|          | 再生資源卸売業  | 21年度の特徴として、リターナブル瓶である一升瓶の流れが悪い。   |
|          | 鶏卵卸売業  | 前年に比べ仕入れ価格は下がっているものの、売上増にはつながっていない。   |
|          | セメント建材卸売業  | 共同購買事業11月の実績は前年比95.3%。組合員の減少が続いている。   |
|          | 銅製品卸売業   | 原料価格が投機筋の影響で再度上昇しており、仕入れ価格が高騰しつつある。   |
|          | 木材卸売業  | 売上の減少に伴い、在庫を減らしているため、多少の荷動きが出た場合、欠品を起こす材料も出てきている。   |
|          | 理容用品卸売業  | 理容店の利用客減少が著しく、理容用品の売上に大きく影響している。また、多品種・少量購買と小口配送の増加が経営効率を損なっている。このため、得意先に計画購入、一括配送を受け入れてもらうことが是非とも必要である。                                    |
|          | 美容用品卸売業  | 地方には自主制作で効果的な販促ポスターを作るなど、アイデアにより実績を上げている組合員も見受けられる。   |
|          | 紙卸売業   | 秋需といったほどの実績を上げることができなかった。先行きの不安感は大きい。   |
|          | 玩具卸売業  | デフレ傾向を支持するがごときのマスコミ報道が廉売をあおっている感がある。売上高は減少する一方である。  |
|          | 食器卸売業  | 組合員ではないものの、業界大手の企業が廃業するとの情報もあり、各社疲弊しきっている状況がうかがえる。年末需要が見込める時期であるが、見通しは暗い。   |
|          | 食品卸売業  | 新型インフルエンザによる学級・学校閉鎖は給食食材のキャンセルを招き、多大な損失をもたらしている。  |
| 小 売      | 化粧品小売業   | 組合員の減少が続く。後継者難、商店街の弱体化、ドラッグストアの台頭等が理由としてあげられる。  |
|          | 木材小売業  | 11月に特売を行なった結果、売上は増加したものの、需要の先取りを危惧している。   |
|          | 古書籍小売業   | 組合員からは、景況はさらに悪化しているとの声を多く聞いている。   |
|          | 包装材料小売業  | 段ボールシートに多少の動きが見えるが、各社の状況を改善するに至ってはいない。サウジアラビアの天然ガスを原料とするポリエチレン等はかなり安く供給される見込みであるが、国内化成品市況には変化が見られない。  |
|          | 青果小売業  | 大型店の廉売競争の余波で、客数の減少が著しい。売上高、収益状況とも非常に厳しい。  |
|          | 文具小売業  | 11月に見本市をメーカー、卸業者の協力を得て実施した。組合員間の連携意識を高めることができたとともに消費者の購買意識の喚起に役立つことができたと思われる。   |
|          | 食品小売業  | 売上高は前年比95%と低調であった。特に生鮮品（青果、鮮魚、精肉）の落ち込みが大きい。店頭価格が下がっているものの売上につながらない。特に鮮魚に関しては、シーズンに入ったにもかかわらず鍋物主力品が低調であった。業界の廉売合戦は厳しさを増しているが、売上の増加には寄与していない。 |
|          | 電器製品小売業  | 液晶、プラズマテレビの売上増加が冷蔵庫、エアコン、洗濯機の落ち込みをカバーした格好である。しかしながら冬のボーナス支給額の減少が伝えられる中で、今後売上が落ち込むことを危惧している。   |
|          | 中古自動車小売業   | 11月当初の売上は順調だったものの、中旬以降悪化した。   |
|          | 衣料品小売業   | 前月に引き続き、衣料品全般の売上高は落ち込み、前年比2桁減となった。  |
|          | 豆腐小売業  | 11月8日に開催した「関東豆腐まつり」は、豆腐1,500丁をはじめとする各種商品が2時間で完売するなど大盛況であった。おいしい豆腐を求める消費者のニーズに応えることが、生き残りへの確かな道であると確信された。                                    |
| ペット小売業   | 今月も鳴かず飛ばずの状況が続いた。犬の販売は多少持ちこたえているが、飼鳥の販売は益々細くなっている。鳥インフルエンザがマスコミ等で取上げられなくなったのがせめてもの救いである。 |   |

|         |          |  |
|---------|----------|--|
| 小 売     | 家具小売業    | 年末需要も期待できない状況である。  |
|         | 眼鏡小売業    | 賦課金納入が困難であるため、組合員2社が脱退。景況の厳しさは増すばかりである。  |
|         | 自転車小売業   | 天候が不順であるため、来店率が低かった。   |
| 商 店 街   | 秋 葉 原    | パソコンの売上は上昇。映像関連は売上順調ではあるが、単価アップには至らず。インフルエンザ対策のため、加湿器、空気清浄機は上向き傾向。円高の影響で、外国人客の減少傾向が続いている。  |
|         | 武蔵小山     | 来客数は減っていないものの、販売単価が上昇しない状況が続いている。  |
|         | 目 黒      | 年末に向けての期待感はあるが、見通しは暗い。   |
|         | 銀 座      | 前月より売上状況は多少良くなっていると思われる。   |
| サ ー ビ ス | 廃棄物処理業   | 11月に入り景況は一段と悪化。廃棄物の総排出量が減少する中で、業者間のシェア争いが加わり、処理価格の低下を招いている。再生資源の市況も悪化している。   |
|         | 自動車整備業   | 新車販売の悪化は自動車関連業界全てに悪影響をもたらしている。   |
|         | クリーニング業  | クリーニングが必要な高価な衣料品の変わりに、簡単に家で洗濯できる、カジュアル衣料がもてはやされている。高価だが質の良い衣料品の復権を望む。  |
|         | 複 写 業    | 印刷・複写関連のメーカーが減っている。市場規模に見合うまで整理、統合が進むとの見方が強い。多品種、少量、IT対応といった技術に対応できないメーカーは市場から撤退をせざるを得ない状況にある。また、複写業界については例年になく需要が低迷する中で、組合から脱退する事業者が相次いでいる。 |
|         | 飲 食 業    | 客足は遠のき最悪の状況にある。年末年始の飲み会シーズンに期待したい。   |
|         | 公衆浴場業    | 東京都より、クリーンエネルギー化と耐震補強に関する補助が得られるにもかかわらず、申請が少ない。  |
| 運 送     | 貨物自動車運送業 | 景況に格差が生じており、一部には健闘している企業も見受けられる一方、廃業に至った組合員も出ている。  |
|         | 港湾運送業    | 中国を中心とする輸出入コンテナの取扱量が大幅に減少しており、状況は悪化している。組合員はコスト削減に努めているが、収益の減少に追いつかない。   |
| 建 設     | 管工事業     | 倒産組合員が発生し始めた。  |
|         | 内装工事業    | 官民とも需要の減少は相変わらずであるとともに、受注単価の下落しており、厳しい状況は続いている。  |